

化石研究グループの紹介

御所浦白亜紀資料館友の会

鵜飼宏明*・廣瀬浩司*・大塚雅勇**

*〒866-0321 熊本県天草郡御所浦町4310-5 御所浦白亜紀資料館・**〒861-1115 熊本県菊池郡志志町豊岡2527-94

Earth Science Club in the Goshoura Cretaceous Museum

Hiroaki Ugai*, Koji Hirose* and Masao Otsuka**

*Goshoura Cretaceous Museum, Goshoura 4310-5, Amakusa, Kumamoto 866-0321 (g-mue01@minos.ocn.ne.jp, g-mue02@minos.ocn.ne.jp); **Toyooka 2527-94, Goshi, Kikuchi, Kumamoto 861-1115

はじめに

御所浦白亜紀資料館のある御所浦町は、八代海（不知火海）に浮かぶ熊本県唯一の離島の町で、有人島の御所浦島、牧島、横浦島の3島を含む大小18の島々からなる。海に囲まれた御所浦町は、豊かな自然と温暖な気候下で水産業や果実栽培が盛んである。この町から中生代や新生代の化石が豊富に産出することは、古くから知られており（Nagao, 1930；松本, 1938など）、さらに近年では、恐竜などの大型爬虫類化石が多数見つかった（菊池ほか, 1997など）。

御所浦白亜紀資料館友の会は、2001年7月に発足した。本会は白亜紀資料館の活動を支援・賛同する人々が、野外の豊富な化石を用いた化石観察や、白亜紀資料館の標本および資料を活用し、自然科学の理解を深める組織である。この会の目的は、会員が古生物学・地質学を中心に、自然科学全般にわたる知識を深め、また、会員相互の親睦も深めつつ、博物館が行なう一般社会への普及活動を支援することである。資料館と連携した友の会の重要な活動の一つが、御所浦町全島博物館構想の実現やその発展に貢献することである。御所浦町全島博物館構想とは、島全体を博物館に見立て、露頭で地層や化石を観察し、現地に設置された説明板などにより御所浦町の地質や化石が学べるように整備を進める構想である（図1）。さらに、来島者が化石だけでなく動植物など様々な御所浦の自然を体験できるようなプログラムの作成や整備も進めているところである。この構想の中で、化石は御所浦の自然を代表する社会の公共財産と考えられているため、その採集は原則として禁止されているが、教育や学術的研究を目的とする活動の場合に限って、白亜紀資料館や御所浦町教育委員会を通じて採集が許可されている。また、一般の人々に対しては、化石採集を実際に体験するための採集場も設けられており、安全で化石産出量の多い場所が御所浦町によって整備され、誰もが化石採集を行なえるようになっている。さらに、白亜紀資料館や友の会の主催で採集場や現地を利用した化石の観察会が行なわれており、学芸員に加えて専門知識を有する会員も指導に当たっている。

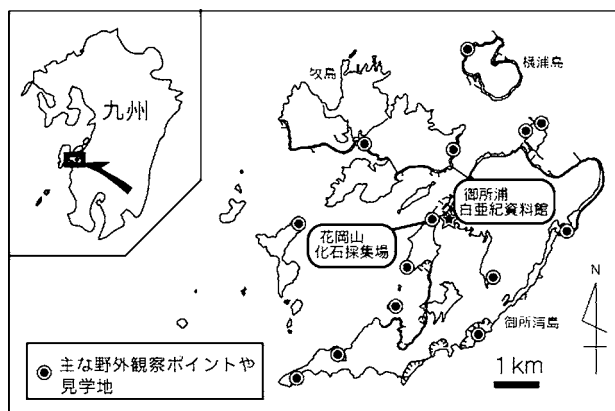


図1. 御所浦町の主要化石産地と野外観察ポイント。



図2. 御所浦町内での活動の様子(写真右は姫浦層群と弥勒層群の不整合露頭)。

友の会の活動は年4回（白亜紀資料館との共催も含む）ほど行っている（表1）。これまでに、御所浦町内などで観察会を実施し（図2）、さらに会員の申し出に応じて積極的に天草地域などでも開催している。また、白亜紀資料館や全島博物館構想推進協議会などと共同で地質調査を行ない、御所浦町内での化石の分布調査や全身骨格の復元が

表1 具体的な活動内容の紹介.

2001. 7. 1	「天草の地質図」解説書発行
7. 20	御所浦白亜紀資料館友の会発足式・講演「化石の島天草」友の会会長 大塚雅勇
8. 4	第1回夜空観察会 龍ヶ岳町立ミュージアム天文台木戸良二
8. 18	第2回夜空観察会 同上
10. 21	御所浦層群の化石採集会
11. 24	牛深市下須島化石観察会 大塚雅勇
11. 30	友の会誌「あまくさ自然誌」創刊号発行
2002. 1. 27	室内活動 化石の調べ方
2. 28	友の会誌「あまくさ自然誌」第2号発行
4. 27	御所浦化石分布調査（御所浦町州の田川、白亜紀資料館と合同調査）
7. 21～9. 1	あまくさの化石展（共催）
8. 10～11	夏休み化石セミナー：前期（共催）
8. 24～25	夏休み化石セミナー：後期（共催）
11. 23～24	御所浦町古生物学ワークショップに参加（全島博物館構想推進協議会主催）
2003. 5. 5	御所浦恐竜合同発掘調査（白亜紀資料館と合同調査）
7. 19～8. 24	御所浦恐竜発掘展（共催）
7. 26～27	夏休み化石セミナー：前期（共催）
8. 9～10	夏休み化石セミナー：後期（共催）
11. 29～30	化石をたのしむワークショップに参加（全島博物館構想推進協議会主催）
2004. 5. 1	御所浦町竹島探検～磯の生物を探そう&地層の観察～
7. 24～8. 22	マダガスカルのアモンナイト展（共催）
7. 31～8. 1	夏休み化石セミナー：前期（共催）
8. 21～8. 22	夏休み化石セミナー：後期（共催）
10. 30	ワークショップ～不知火海を探る～に参加（全島博物館構想推進協議会主催）

期待される恐竜化石の発掘協力などを行っている。この他にも御所浦町全島博物館構想推進協議会の事業に対する協力や、白亜紀資料館や全島博物館構想推進協議会などの企画展における標本の提供および準備協力などのボランティア活動等にも携わっている（図3）。

これらの活動については、友の会誌「あまくさ自然誌」に掲載され、会誌は年間2～3回発行されている。また、会の活動で学術的に価値のある成果が得られた場合は、会員が自主的に白亜紀資料館発行の「御所浦白亜紀資料館報」に投稿している。

御所浦町の地質と化石産地紹介

御所浦町には“中部”白亜系の御所浦層群（アルビアン～セノマニアン）と上部白亜系の姫浦層群（サントニアン～カンパニアン）が広く分布している。島の海岸は露頭状態が良いため、地層の観察および化石採集に適している。御所浦島に露出する御所浦層群は、下部の河口域周辺の干潟堆積物から恐竜（図4左）、ワニ、カメなどの爬虫類化石（菊池ほか、1997、2000、2001）、中部の海成層からトリゴニアなどの海生貝類化石が産出することで有名である（図5）。また、姫浦層群からは、アモンナイト（図4右）（松本、1938；Matsumoto, 1960；Matsumoto and Tashiro, 1975など）、イノセラムスなどの貝類（Tashiro, 1972, 1976, 1978；田代、1992など多数）、サメの歯などが産出する。

御所浦層群の貝類化石は、資料館の近くにある花岡山化石採集場で採集することができる（図1）。この採集場



図3. 友の会が共催した企画展「あまくさの化石展」. 友の会会員から多くの貴重な標本が寄贈され、展示された。

は、貝類化石を多量に含む転石があり、誰もが気軽に採集できる。貝類化石は汽水生の二枚貝や巻貝が多く、二枚貝には現在のシジミ科のグループやマガキ属の仲間が多く含まれ、長さ10cm以上になる巻貝化石なども産出する。また、恐竜などの脊椎動物の化石も発見されていることから、休日に大物をねらって化石採集を楽しむ親子の姿も見られる。なお、花岡山から産出する二枚貝化石については、博物館に置かれている資料や図鑑（「化石図鑑」日本の中生代白亜紀二枚貝、田代、1992）で調べることができる。

御所浦町は中生界の他に新生界も分布する。横浦島や牧島、竹島などには、白亜系を不整合で覆う古第三系始新統



図4. 左より, 御所浦産の日本最大級の肉食恐竜の歯, アンモナイトの化石(スケールは1cm).

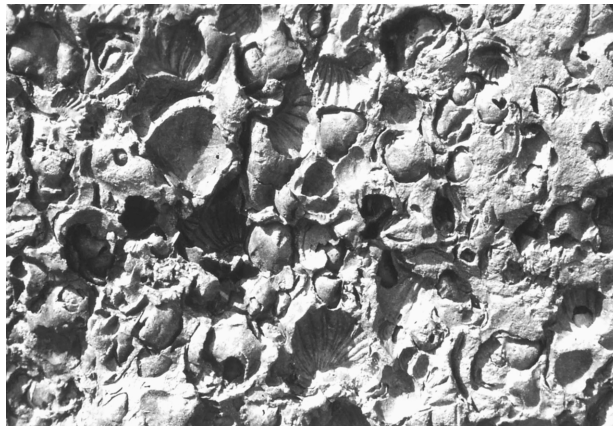


図5. トリゴニアなどの浅海生二枚貝化石の密集. 図の幅は約30cm.

の弥勒層群を構成する赤崎層と白岳砂岩層が分布し、その上位に本渡層群の教良木層が整合関係で見られる。赤崎層は字の通り赤から赤紫色のシルト岩を特徴とする陸成層で、宮田ほか（1997, 2001, 2004 など）により絶滅したグループであるコリフォドン科の頭骨と断片的な下顎やエソニックス科などの哺乳類化石が、御所浦町から報告されている。白岳砂岩層は浅海に堆積した砂岩を主体とする地層で、大型有孔虫のヌムリテス（貨幣石）のほかにコルポスピラなどの海生貝類化石を産出する。教良木層は姫浦層群のような公海成の堆積岩からなり、大型化石は少ないものの放散虫や有孔虫などの微化石が含まれる。

今後の取り組み

発足当時の会員は、40名ほどで県内在住の方が中心であった。しかし、会員は全国的にも増えつつあり、現在の会員数は130名以上である。そのため、今後は県外での活動も考慮に入れた精力的な活動を行っていく予定である。具体的には、資料館のWebサイトでの活動報告や情報発信

を積極的に行い、遠方の会員が少しでも多くの情報を得られるように配慮することを検討している。さらに来年度の活動予定では、5月に御所浦町内での化石観察会、夏に化石セミナーの共催、秋には町外において化石観察会を行う予定で、会誌の発行も年3回を予定している。また、継続的に白亜紀資料館や全島博物館構想推進協議会などが主催する企画展や調査、活動などを様々な形で支援していく。

入会案内

御所浦が好きな方、興味ある方、自然に触れ合えるさまざまな活動をみんなで楽しく面白くやってみたい方は誰でも入会できます。

年会費 普通会員2,000円 学生会員1,500円 児童生徒1,000円 家族会員4,000円（一家族何人でもOKです）賛助会員10,000円

入会申し込みおよび問い合わせ先

御所浦白亜紀資料館友の会事務局

〒866-0321 熊本県天草郡御所浦町4310-5 御所浦白亜紀資料館内

TEL : 0969-67-2325 FAX : 0969-67-2359

e-mail: g-mue02@minos.ocn.ne.jp

文献

- 菊池直樹・廣瀬浩司・東 洋一・近藤康生・田代正之, 1997. 御所浦層群からの恐竜化石の発見. 嶋村 清, 「御所浦の地質」, 116-118. 御所浦町全島博物館構想推進協議会刊.
- 菊池直樹・廣瀬浩司・鹿納晴尚・近藤康生・田代正之, 2000. 御所浦層群の脊椎動物化石分布調査報告 Part I. 御所浦白亜紀資料館報, (1), 23-27.
- 菊池直樹・廣瀬浩司・鹿納晴尚・近藤康生・大塚雅勇・田代正之, 2001. 御所浦層群の脊椎動物化石分布調査報告 Part II. 御所浦白亜紀資料館報, (2), 13-17.
- 松本達郎, 1938. 天草御所浦島に於ける地質学的研究 (特に白亜系の地史学的研究). 地質学雑誌, **45**, 1-46.
- Matsumoto, T., 1960. *Graysonites* (Cretaceous Ammonites) from Kyushu. *Memoirs of the Faculty of Science, Kyushu University, Series D, Geology*, **10**, 41-58.
- Matsumoto, T. and Tashiro, M., 1975. A record of *Mortoniceras* (Cretaceous Ammonite) from Goshonoura Island, Kyushu. *Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series*, (100), 230-238.
- 宮田和周, 1997. 熊本県御所浦町牧島から産出した始新世哺乳類化石. 嶋村 清, 「御所浦の地質」, 116-118. 御所浦町全島博物館構想推進協議会刊. 103-109.
- 宮田和周, 2001. 日本最古の奇蹄類化石について. 日本古生物学会第150回例会講演予稿集. 93.
- 宮田和周・富田幸光・廣瀬浩司, 2004. 熊本県御所浦町の赤崎層産 *Trogosus* (哺乳類: 裂歯目) 化石について. 日本古生物学会2004年年会講演予稿集. 138.
- Nagao, T., 1930. On some Cretaceous fossils from the island of Amakusa, Kyushu, Japan. *Journal of the Faculty of Science, Hokkaido Imperial University, Series IV, I*, 1-25.
- Tashiro, M., 1972. On the surface ornamentation of the pennatae trigoniids, and on the three new species from the Himenoura Group, Kyushu, Japan. *Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series*, (86), 325-339.
- Tashiro, M., 1976. Bivalve faunas of the Cretaceous Himenoura Group in Kyushu. *Palaeontological Society of Japan, Special Papers*, (19) 120 p.
- Tashiro, M., 1978. On some interesting bivalves from the Cretaceous Himenoura Group in Kyushu. *Transactions and Proceedings of the Palaeontological Society of Japan, New Series*, (110), 319-329, pls. 43-44.
- 田代 正之, 1992. 「化石図鑑」日本の中生代白亜紀二枚貝. 307 p.

